

11. 教育

	タイトル	意見等
1	小中学校に現地学習を取り入れた必修科目新教科「防災」の新設が急務！	能登地震が、学校管理下で起きたら、大混乱と人命を失った可能性大。そこで、東日本大震災の石巻大川小だけが、徒歩1分で高台に逃げられたのに、数多くの死者を出した悲劇を繰り返さないよう、小中学校に地図を持って危険箇所を学び、災害時の対処の仕方、避難経路の確認、避難所までの道筋、災害発生後の対処の仕方、性被害の防ぎ方など現地学習を取り入れた必修科目新教科「防災」の新設を強く望む。日本版FEMAを防災よりに組み換えた上で司令塔を内閣府防災、実務を総務省（＋消防庁）にします。この先少子高齢化で今回のように「救援が行き届かない」「避難場所が行政の側からは確認出来ない」「帰省中などで一時的に地域の人口が増加しており、被災者数が多い」があり得るので、減災を理由として自治体主体の防災教育を総務省の地方交付金とセットにして実施してもらおう形（目的型で他に流用不可。自治体はやらざるを得ない）で、そのためには特別の教科である「防災科」が必要という立て付けで初中局に働いてもらう（力関係は内閣府＞総務省＞文科省。被災したら学校は否応なしに避難所になるため、ぶつ切りではなく体系化された教科が欠かせないという理屈）のが手取り早い。災害は、待たなしに起こる。直ちに新教科「防災」を新設し、減災に取り組むことは、行政の責務である。
2	学区制度について	昨今、学区制度について会議や話し合いを行って頂きありがとうございます。色々な意見があることと思いますが、いち一般人の意見もお伝え下さいますようお願いします。 徳島の高校生、大半が自転車通学となります。その事を踏まえて頂き学区の見直しなり撤廃なり存続なりよく吟味して頂きたいです。 また、池田高校や那賀高校は定員割れの年が多いのに定員が減らないのは何故ですか？徳島市やその周辺から池田高校など通うのは非現実的です。また、撤廃するのであればそれに付随するように交通網を増やしてくれないことには遠方の高校への選択ができません。昨今はJRの便数も減ってきているイメージです。各高校での特色を作ることも大事とは思いますが、通学が一番！だと思います。同じような意見は出ているかもしれませんが存続にせよ撤廃にせよ通学に困らないような学区にして頂きたいと思います。
3	養護教諭について	今の時代、どの学校にも、養護教諭を最低2名おいてはどうでしょう。理想は、最低でも男性1名女性1名ずつ、学生の人数が多ければもう少し増やしてみたい？例えば2学年ずつに1名と言った感じで。 特に、男女各1名ずついることに意義があると思います。 日本初の試みをしてもらいたいです！
4	県立高校の教育改革について	後藤田正純徳島県知事様と徳島県教育委員会が一体となって、徳島県立高等学校のすべての普通科をすべて文理学科へと学科改組してください。 大阪府立北野高等学校の文理学科、大阪府立天王寺高等学校の文理学科、大阪府立大手前高等学校の文理学科、大阪府立高津高等学校の文理学科など大学の経済学部及び商学部で履修する経済学、会計学、統計学、財政学、簿記論には、高校の数学の基礎知識が必要
5	県立高校の教育改革について	後藤田正純徳島県知事様と徳島県教育委員会が一体となって徳島県立鳴門高等学校、徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校に理数科を復活させて、東京大学(理科Ⅰ類・理科Ⅱ類・理科Ⅲ類)、京都大学(理学部・工学部・薬学部・医学部医学科)、東京医科歯科大学(医学科・歯学科)、東京工業大学、東京農工大学(農学部共同獣医学科)へ合格入学ができるようにしてください。
6	学校にリフレッシュ室（仮称）の設置希望	小学生の母親です。子供が真面目で緊張が強いタイプで、気軽に発言もできないためか、一日過ごすことがとても疲れるようで、たまに登校渋りを起こすようになってきました。そこで思ったのが、とりあえず登校しても疲れたらリラックスして、自由に過ごせる部屋のような場所（先生とは違う見守りの人がいると安心）が各学校に1つあると、登校するしんどさがやわらぐように思いました。（休んでしまわなくても、まあとりあえず行ってみようか・・・と思えそう。）今、不登校も増えているとニュースや議会でも言われています。減らす対策案として一意見です。担任の先生や相談機関で伝えてみましたが、目安箱の方が直接担当へ届くため早いとのことで投稿させていただきました。 県だけでなく、全国的な事柄になってくるかもしれませんが、ご検討いただきたく、お願い申し上げます。